



麻生リハビリ総合病院だより

総生会 理念

常に最善を飽くことなく追求し 質の高い安心の医療を提供する

全国で一番長寿な麻生区でがんばっています!!

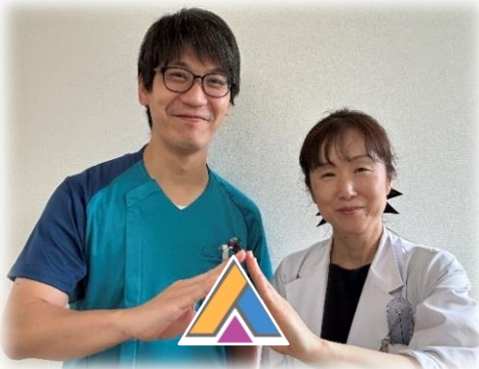


いつも笑顔があふれるリハビリテーション科です!!

当院は開院から 23 年目を迎え、川崎市内で最大の病床数を有する回復期リハビリテーション病院として診療を行っております。患者様のご紹介をいただいております医療機関の皆様、退院後の生活を支援いただいております医療機関および介護保険事業所等地域の皆様に感謝申し上げます。

専門性の高い適切なリハビリテーションには知識や技術、また訓練量は必須です。それらと同様に当院が重視しているのがカンファレンスへの取り組みです。『多職種で病前の生活状況を共有し、退院後の生活を深く掘り下げイメージすること』、『多職種が主体性をもって治療計画を検討し治療に参加すること』。これらはありきたりの事のように思われますが簡単なことではなく、リハビリテーションの基本である**チーム医療の実践と成熟**は当院がこの先も取り組み続けていく最大の課題と考えております。リハビリテーション技術職や他部署との風通しのよい関係性を保ちながら診療を進めてまいります。

リハビリテーション科部長 医師 枋倉 未知



当院は 病院機能評価 高度・専門機能認定医療機関です。

当院のリハビリテーション科は理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、合わせて約 130 名が在籍しています。リハビリテーション室は 470 m²あり、その他に日常生活を訓練するためのADL室や、個室のST室も複数設けております。

当院では、患者様一人ひとりの症状に合わせたリハビリテーションを提供するために、多職種でチームを編成しております。最新の医療機器なども積極的に導入し、スタッフはスキルアップを図りながら、患者様に合わせたリハビリテーションを選択できるよう、日々励んでいます。

常に“患者様もスタッフも笑顔があふれるリハビリテーション科”を念頭に置き、人数の多い部署だからこそ、コミュニケーションをしっかりと取り、スタッフ同士の連携を大切に取り組んでまいります。

リハビリテーション科科長 佐藤 晃

教育委員会活動紹介

当院には『教育委員会』があり、医師、看護師、セラピスト等を構成員とし、一年を通じて院内全体研修を企画、実施しております。

教育委員会の理念は「最高のリハビリテーション医療を提供できる職員を育成する」ことであり、「個とチームの質の向上」を目標に活動しています。

新入職者オリエンテーション

本年は4月1日付で新卒・既卒合わせて17名の入職者をお迎えしました。

当院では毎年4月に新入職者対象のオリエンテーションを実施しています。職場への早期適応と医療従事者としての基本的な能力を修得することを目的に、部署紹介をはじめ、施設基準、リハビリテーション医療について等々、各専門職による講義だけでなく実技も含め、手厚いオリエンテーションを行います。



★ 部署紹介 ★



歩行介助、起居・移乗介助方法



ガウンテクニック と 手洗いチェッカー



ワークショップ：配属先の病棟ごとにグループワークを実施し、発表しました。

リフレッシュ研修



昨年は3年ぶりに、よみうりランドにてリフレッシュ研修を行いました。入職後のフォローアップも兼ね、病院を出て、コンセンサス実習(グループ討議)に取り組みました。チーム医療の実践に必要な合意形成のためのコミュニケーションスキルについて学び、同期入職者同士の絆も深まりました。



「コンセンサス実習」

グループ内で各自の意見を述べ、チームの意見としてまとめ、発表しました。

研修後にはアトラクションで同期と親睦を深めました。

看護の日



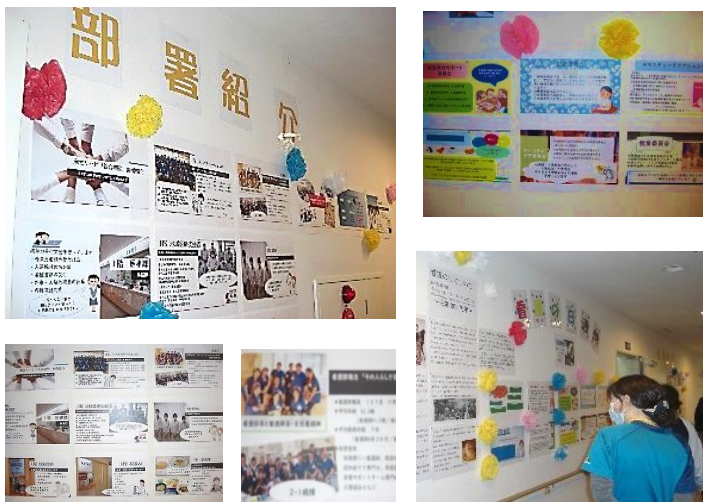
近代看護の母フローレンス・ナイチンゲールの誕生日に、
看護の心・ケアの心・助け合いの心を育むきっかけの日。
また、毎年5月12日の週を看護週間としております。



今年は感染症等の状況を鑑みて、ささやかではありますが看護のイベントを開催いたしました!

～地域の皆様に病院体制や看護ケアを知ってもらおう!～

ポスターによる各部署、看護部委員会活動



栄養補助食品の紹介



車椅子乗車体験、歩行補助具使用体験



口腔体操、腰痛体操、排尿ケアのための骨盤底筋体操 認知症テスト（長谷川式）のご案内



手洗いチェッカー体験



地域の皆様に身近な病院と感じていただけるように、
これからも様々な活動を行っていきます。

医師紹介

リハビリテーション科

8つの質問で
紹介させていただきます

- ①出身地
- ②好きな季節
- ③今、1番欲しいもの
- ④これがないと困る!もの
- ⑤好きな場所
- ⑥好きな時間の使い方
- ⑦好きな果物
- ⑧苦手なもの・こと



平島 富美子

ひらしま ふみこ

日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医 / 指導医
日本内科学会総合内科専門医
日本神経学会神経内科専門医 / 指導医
日本臨床神経生理学会専門医 / 指導医

- ①茨城県
- ②秋～冬
- ③猫
- ④活字 (本など何でも)
- ⑤家の中
(基本インドア派)
- ⑥のんびりボーっとする
- ⑦栗
- ⑧汗をかくこと(サウナなど)





川崎市「地域リハビリテーション支援拠点」

活動
報告



「地域リハビリテーション支援拠点」は2021年4月より運営を開始した川崎市の公的な相談機関です。地域のケアマネジャーや地域包括支援センターの方々から、2年間で70件以上のご相談を承り、当院の経験豊富なセラピストが、介護支援専門員様等と共にご利用者様の自宅等へ訪問し、医療や介護に関する不安や心配、疑問に思っていることに対し、リハビリテーションの視点で助言・提案等をさせていただいております。ご利用者様からたくさんの感謝のお言葉をお寄せいただき、スタッフ一同、とてもやりがいを感じております。「地域リハビリテーション支援拠点」も3年目を迎え、より多くの皆様のお役にたてますよう、これからも支援に取り組んでまいります。

？ 相談内容の例 ？

- 「家の中に手すりなどをつけるために、住宅改修したいけれどどうしたらいいのかわからない」
- 「最近転ぶ回数が増えてしまったので、日常生活での注意点を知りたい」
- 「食事中むせるようになってきてしまった」
- 「福祉用具を選びたいが、どれがよいのかよくわからない」等々



ご相談は担当のケアマネジャーまたは、地域包括支援センターへお願いいたします。詳しくは、川崎市のホームページをご覧ください。

[地域リハビリテーション支援拠点に関するホームページ]

●川崎市ホームページ (<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000130785.html>)



令和5年度 川崎市病院協会優良職員表彰

去る5月24日(水)、川崎市病院協会 優良職員表彰式・表彰祝賀会が開催され、当法人からは看護師2名、理学療法士2名、病棟クラーク1名、医療ソーシャルワーカー1名が表彰されました。会員病院の発展に努め、他の模範となり従事していることが称えられ、菅泰博理事長、菅直樹常務理事と共に、皆、喜色満面での表彰式となりました。



診療実績のご報告

[直近6ヶ月(2022年10月~2023年3月)の診療実績報告です]

在宅復帰率 (退院先内訳)

在宅復帰	退院先	2022年10月~2023年3月	
		人数	割合
	自宅	279人	64.1%
	特別養護老人ホーム	10人	2.3%
	有料老人ホーム	46人	10.6%
	介護医療院	0人	0.0%
	グループホーム	9人	2.1%
	高齢者専用賃貸住宅		
	慢性期病院	22人	5.1%
	介護老人保健施設	22人	5.1%
	その他	47人	10.8%
	合計	435人	100.0%
	一般病棟への転院	17人	3.9%
	在宅復帰 合計	344人	79.1%

その他：他科への転棟など

回復期リハビリテーション病棟入院料1の実績要件		当院の診療実績
リハビリテーション実績指数	40以上	51.0
自宅等に退院する割合	70%以上	79.1%
重症患者の割合	40%以上	47.4%
退院時の日常生活機能評価 (FIM16点) 以上改善割合	30%以上	71.3%

「回復期リハビリテーション病棟入院料1」では、施設基準が高く設定されておりますが、当院の診療実績はそれを大きく超えて全体的に高い水準となっております。



医療法人社団 総生会 麻生リハビリ総合病院

発行: 麻生リハビリ総合病院
〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生 6-23-50
TEL (044)981-6878 / FAX (044)981-6871



第12号 院外広報誌
発行日: 2023年7月1日
発行者: 広報委員会

